

北海道リハビリー・第41回ボランティアカーニバル
祭りで地域と交流

ダウ・ケミカル日本株式会社が教材を寄贈
新しい顕微鏡で観察

8月31日、西の里にある社会福祉法人北海道リハビリーで「ボランティアカーニバル」が開催されました。

昭和49年、施設を利用している障がいがある方と地域の方との交流を目的に始まったイベントは、今年で41回目を迎えます。秋晴れの下、たくさんの方が訪れました。福祉施設で製作されたタオルなどが安価で販売されたり、景品が狙えるパットゴルフコーナーがあったり、工夫を凝らした内容に来場者も楽しそうでした。

職員がデザインしたTシャツや手作りプリンも大好評でした。



市内に工場があるダウ・ケミカル日本株式会社が、市内の4中学校に生物顕微鏡や電圧計などの理科教材を寄贈しました。



9月8日に、広葉中学校で1年生が新しい生物顕微鏡でツククサの葉脈を観察しました。照明が付いているので、従来のものより明るくて見やすく、「すごく大きくて、立体的に見えるね」と驚いていました。

同校では「いただいた教材で、生徒たちの科学への興味と関心がいつそう高まるでしょう」と喜んでいました。

第33回大曲地区福祉ゴロッキー大会
楽しく健康づくり



9月13日、大曲東小学校体育館で、大曲地区社会福祉委員会が主催する福祉ゴロッキー大会が開かれました。65歳以上の方が

約70人参加し、北広島生まれの軽スポーツを楽しみました。

4人1組になり、より少ない打数でボールを穴に入れるのを競います。狙ったところになかなかボールが転がらない人に「頑張れ」と周囲が熱く応援。「知らない人とチームを組んでも、この場で親しくなれますね」「成績なんて関係なく、本当に楽しい」と、参加した皆さんは、生き生きとしていました。

エコミュージアムセンター知新の駅事業・きたひろしまの化石展
太古の歴史に思いをはせて

エコミュージアムセンター知新の駅で「きたひろしまの化石展」が開催中です。貝やクジラ、バイソン、カイギュウなどの化石やレプリカが展示されています。化石パズルや地層をつくる実験、10月末までの土・日、祝日にはミニ発掘体験もできます。10月26日にミュージアムトークを開催。同日からマンモスの頭部を再現します。11月16日には貝化石のレプリカ作りも体験できます。



化石展は12月7日までです。化石たちからのメッセージに耳を傾け、北広島の太古を想像してみませんか。

*本紙は資源保護のため100%再生紙を使用しています。

北広島 2014 (平成26年) . 10. 1
通巻975号

編集 NPO法人ひろがり・北広島市情報推進課
発行 北広島市
〒061-1192 北海道北広島市中央4丁目2番地1
☎011 (372) 3311 (代) / FAX 011 (372) 0840
✉koho@city.kitahiroshima.hokkaido.jp

今月の表紙

秋といえば、やはり食欲の秋でしょうか？
市内の大根農家では収穫や選別に大忙し。④(まるひろ)大根は、ほかのまちなにも自慢できる農作物の一つ。11月上旬まで農作業が続く、道内外に出荷されます。
「天気の良い日が多く、大根の生育もいいよ。これからは、おでんに入れるのがおすすめ」と(株)ホワイトファーム・エム・ケーの高藤さん。爽やかな笑顔でした。